

「沖縄IT津梁パーク」の整備始まる



起工式

沖縄県が国内外の情報通信産業の一大拠点の形成を目指すビッグプロジェクト「沖縄IT津梁パーク」。

去る、平成20年10月14日に、建設予定地のうるま市にて、起工式がとりおこなわれました。本記事では、当パークについてご紹介します。

IT津梁パークとは

IT津梁パークは、沖縄県が一部国の補助を受け、うるま市・洲崎の新城湾港新港地区に整備を進めている事業で、敷地面積は約17・3ヘクタール、東京ドーム約13個分に相当する広さです。

当パークの完成により、沖縄IT産業の高度化・集積や、アジア諸国との津梁（架け橋）機能を生かした相互ビジネスの拡大が期待されています。

各施設の機能

当パークは、中核支援施設と民間施設（オフィスビル）から構成されます。

中核支援施設は、IT津梁パークのフラッグシップ施設として、ASP・コンテンツ配信センター、コピキタス特区センター、オフショアコアセンターなど民間IT業務をサポートする機能のほか、会議室、研修室、食堂、売店、保育所などの共用施設が備わります。平成21年度までに2棟が建設されます。

民間施設は、入居を希望する民間企業等に対して県から貸与されます。主に、ソフトウェア開発企業やデータセンター、コールセンター等の入居が期待されています。平成22年度までに13棟が建設されます。

整備スケジュール

平成21年3月までに、中核支援施設A棟及び民間施設4棟の建設を行い、一部は、同年4月から供用開始される予定です。

残る中核支援施設B棟や民間施設は、来年度以降、段階的に建設されることになっており、IT津梁パーク全体は、平成23

年の完成を目指しています。

その他

当パークは、沖縄特別自由貿易地域内に建設されており、また周辺には製造業やバイオ産業等の集積が進んでいることから、今後IT産業との連携による産業の成長が期待されます。

また、うるま市は、沖縄振興特別措置法に基づく情報通信

産業振興地域・産業高度化地域の税制優遇措置や、企業立地促進法に基づく支援措置も受けられることになっています。

本パークに関するお問合せ

沖縄県観光商工部情報産業振興課（電話098・866・2503）

（本記事の内容は予定であり、今後の国・県の財政事情等により、変更される場合があります。）



完成予想図



IT 津梁パーク